

花火を正しく安全に！

夏の風物詩といえは…。そう、花火です。皆さんも、自宅前やキャンプなどで花火をする機会が増えるのではないのでしょうか。
しかし、この楽しい花火もおもちゃとはいえ、原料は火薬です。使用方法や注意事項を守らないと大きな事故や火災につながります。

注意事項

○ 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。



○ 花火を人や家に向けたり、燃えやすいもののある場所で遊んだりしないようにしましょう。



○ 手持ちの「筒もの花火」は、手の位置に注意しましょう。



○ 風の強いときは、花火はやめましょう。

○ 必ず水を用意して遊びましょう。



○ 大人と一緒に遊びましょう。

○ たくさんの花火に一度に火をつけないようにしましょう。

○ 正しい位置に正しい方法で点火してください。

○ 花火をポケットに入れてはいけません。

○ 花火をほぐして遊ぶことは危険なので絶対にしてはいけません。

○ 吹出し、打ち上げなどの筒の花火は、途中で火が消えても筒を覗いてはいけません。点火する時も筒先に顔や手を出さないようにしましょう。

花火はきれいで楽しいものです。せつかくの楽しい夏休

み。ちょっとした不注意から事故や火災を起こさないよう以上のことに注意し、公園などの広い場所で、必ず大人の人と一緒に遊び安全で楽しい花火をしましょう。

平成16年度甲種防火管理者資格取得講習会案内

講習日時 (2日間)

9月28日(火)
午前10時～午後5時

9月29日(水)
午前9時～午後4時30分

講習場所

伊予市下吾川9500-3
伊予消防等事務組合伊予消防署 3階大会議室

講習用テキスト

防火管理六法、防火管理の手引き(当日会場で販売します。代金2,260円)

受付期間

8月10日(火)～9月10日(金)
受講定員 100名(定員になり次第受付を締め切る)

防災一〇メモ

震度とマグニチュード

最近私たちの周りでもこれから起こる地震についていろいろと議論されていますが、皆さんは地震の時によく使われる震度とマグニチュードの違いを知っていますか？

震度とは、各地点においてどのくらいの大きさの揺れが届いたかを示すもので、マグニチュードとは、地震の規模を表しているのです。

例えていえば、電球には、「〇〇W(ワット)」という値が書いてあります。この値が大きいほど明るくなりますが、実際に私たちの明るい・暗いという感じ方は自分のいる位置にどれだけ光が届くかによって異なります。

とても明るい道路の水銀灯でも何kmも離れた所から見るとただの点にしか見え、明るさは全く感じられません。反対に

小さな懐中電灯でも顔に光を当てると、とても明るくまぶしく感じます。このようなある地点における明るさは、「ワットではなく、「1-x(ルクス)」という単位で表します。

ここで地震の話に戻すとワットがマグニチュードでルクスという単位が震度にあたるのです。いくらマグニチュードが大きな地震でも遠くで起これば震度は小さなものになり、マグニチュードが小さくても震源の近くで感じれば震度は大きくなると言うわけです。

マグニチュード (電球の明るさ) 震度 (届く光の強さ)

